

## 京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保護課	新谷 勝行
生涯学習課	川村 義輝

重点目標	6	歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます
基本の方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。 また、市民や団体による主体的な文化芸術活動等を推進することにより、文化の薫り高いまちづくりに寄与します。	

### 1. 施策の方向性

### PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育による「丹後学」を積極的に展開します。特に、世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの地質遺産を活用し、小学生を対象にフィールド学習を実施します。 ②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。 ③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座、文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図り歴史文化財の普及啓発に努めます。
2. 地域の文化財の総合的な保存と活用	①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新、映像記録作成等を通して文化財の保全と活用を図り、伝統芸能を継承していきます。 ②京丹後市史編さん事業や発掘調査等の文化財調査での成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。 ③京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。 ④古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡をはじめ、地域文化財の総合的な保存と活用を進めることで郷土への誇りと愛着を培います。併せて文化財保存活用地域計画を策定し、丹後の輝かしい資産を観光や地域振興に積極的に活かします。
3. 資料館施設等の整備充実	①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、丹後ちりめん、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。 ②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。 ③郷土の歴史や文化財の調査を進め特別展示、企画展を開催するとともに貴重な資料を保管し後世に伝えます。 ④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。
4. 文化芸術活動の推進	①文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関及び団体と連携し、地域の特色を生かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。 ②市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館など関係施設を活用して、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、丹後文化会館の改修に向け京都府に対し要望活動を進めます。

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	CHECK	ACT	
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育による「丹後学」を積極的に展開します。特に、世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの地質遺産を活用し、小学生を対象にフィールド学習を実施します。					
②	子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。					
③	文化財セミナーや京丹後史博士育成講座、文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図り歴史文化財の普及啓発に努めます。					
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
	文化財保護啓発事業	文化財保護課				
	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。				統合(整理)	
2. 地域の文化財の総合的な保存と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新、映像記録作成等を通して文化財の保全と活用を図り、伝統芸能を継承していきます。					
②	京丹後市史編さん事業や発掘調査等の文化財調査での成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。					
③	京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。					
④	古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡をはじめ、地域文化財の総合的な保存と活用を進めることで郷土への誇りと愛着を培います。併せて文化財保存活用地域計画を策定し、丹後の輝かしい資産を観光や地域振興に積極的に活かします。					
1	市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,000	2,000	-	現状維持
	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
2	史跡等維持管理事業	文化財保護課	1,837	1,781	-	現状維持
	指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。					
3	指定文化財等管理事業	文化財保護課	-	-	4,052	統合(整理)
	貴重な文化財を後世に残すため、修理や保全に係る事業に対して補助金を交付するとともに、市内指定文化財を適切に維持管理し、看板設置などにより指定文化財等の普及啓発を図る。					
4	遺跡整備事業	文化財保護課	27,659	31,235	46,332	拡大
	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
5	遺跡整備事業【緑越】	文化財保護課	18,473	-	-	
	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
6	遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	6,031	4,213	6,641	拡大
	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。					
7	地域文化財総合活用推進事業	文化財保護課	-	-	6,174	拡大
	市内に数多く残る文化財について、市の歴史文化の特色や課題を明らかにし、各分野が地域資源として文化財を有効活用するための指針を示す文化財保存活用地域計画の策定を行う。					
3. 資料館施設等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①	市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、丹後ちりめん、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。					
②	児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。					
③	郷土の歴史や文化財の調査を進め特別展示、企画展を開催するとともに貴重な資料を保管し後世に伝えます。					
④	資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。					
8	郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	6,865	2,719	30,773	拡大
	民俗資料等の収集・調査・公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
9	古代の里資料館管理運営事業	文化財保護課	12,656	49,994	11,541	現状維持
	考古資料・美術工芸品等の収集・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高める。					
10	指定管理施設運営事業	文化財保護課	8,488	8,562	8,587	現状維持
	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					

4. 文化芸術活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関及び団体と連携し、地域の特色を生かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。						
② 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館など関係施設を活用して、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、丹後文化会館の改修に向け京都府に対し要望活動を進めます。						
11	文化芸術事業 市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。	生涯学習課	33,475	34,410	34,976	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性
12	文化財保護審議会委員設置事業 文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。	文化財保護課	155	225	213	現状維持
13	文化財保護一般経費 文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。	文化財保護課	364	308	352	現状維持
計			118,003	135,447	149,641	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。 また、市民や団体による主体的な文化芸術活動等を推進することにより、文化の薫り高いまちづくりに寄与します。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	530	R2	1,700	R6
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	7,510	R2	18,000	R6
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	R2	8	R6
	京丹後史博士の認定者数	人	-		66	R2	120	R6
	文化協会加盟サークル数	団体	170	H25	151	R2	200	R6
	文化芸術事業の開催回数	回	-	R1	70	R2	100	R6
京都府丹後文化会館利用者数	人	-	R1	28,896	R2	42,000	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	令和2年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	▲	<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 新型コロナウイルス感染症の関係で、京丹後史博士育成講座は休止し、単発の講座として大河ドラマ麒麟が来るの時代の山城を歩くを開催した(2回、36人)。京丹後市文化財セミナーは1回開催予定であったものが次年度へ延期となった。このほか、外部からの出前講座等の対応を行った(23回、494名)。今後、外的要因に打ち勝つような魅力ある講座や企画を打ち出し、目標値に近づけるようにしたい。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、丹後古代の里資料館・郷土資料館は4/18～5/29、鳴き砂文化館は4/9～5/29を臨時休館とした。また丹後古代の里資料館は、空調設備等施設改修工事のため10/12～3/31を臨時休館とした。臨時休館および学校関係の利用が激減したため、前年度実績と比べ入館者が半減した。各館ともに、外的要因に打ち勝つような魅力ある企画を打ち出し、今後の集客増につなげていきたい。</p> <p>《史跡整備》 京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施し、平成30年度より整備事業を進めている。 令和2年度は、検討委員会の指導を得ながら墳丘樹木の整理伐採、前方部南西川の階段整備、周濠整備を行った。令和3年度以降も引き続き、環境整備事業を進め、令和6年度には完成予定である。</p> <p>《京丹後史博士の認定者数》 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で講座の開催を見合わせたため、認定者数に変化がなかった。</p> <p>《文化協会加盟サークル数》 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が予定通りできず、減少に転じたが、各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施の小さな発表会配信事業を通じて、市民のかたへ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつながるよう協会を支援していく。</p> <p>《文化芸術事業の開催回数》 新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となり例年通りの事業が開催できなかったため、開催数は減少したが、小さな発表会配信事業、サークル体験会、アーティスト・イン・レジデンス、モノオペラ「細川ガラシャ」京丹後公演、文化芸術祭事業等、WITHコロナを見据えた事業を企画・実施した。</p> <p>《京都府丹後文化会館利用者数》 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止・延期となったことにより、利用者数が大幅に減少したが、映画上映やコンサート、各種公演等の事業を実施した。今後も、国・府の緊急事態宣言措置に伴い、やむを得ず休館対応を取らざるを得ない状況が続いているため、利用者数は減少傾向が続くことが予想される。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和3年～令和5年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	京丹後史博士育成講座、文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な展示、体験事業を開催するとともに、出前講座への積極的な対応も行き、学習する機会の充実を図る。
	2	網野銚子山古墳の整備事業では、墳丘の補修、園路整備、周濠整備のほか、進入道路、駐車場等の整備を行う予定である。これにより、市民や外からの観光客に、日本海側最大の前方後円墳の姿を示し、地域学習や観光スポットとしての活用をはかる。
	3	丹後古代の里資料館、郷土資料館、琴引浜鳴き砂文化館を適切に維持管理するとともに、それぞれ収蔵資料の内容から機能分化し、市民や外からの観光客に、地域学習や観光スポットとしての活用を図る。



予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	04 社会教育費	2,000千円	2,000千円	0千円	100.0%				
	目	06 文化財保護費				(参考)当初予算額				
	事	03 指定文化財等管理事業				2,000千円	課	文化財保護課		
	細事	01 市指定文化財等補助金	主な財源							
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕									
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。									
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 28件 2,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、府指定登録文化財補助金該当分 16件 1,584千円</li> <li>・京都府社寺等文化資料保全補助金該当分 12件 416千円</li> </ul> <p>(京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの)</p> <p>神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、郷土芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などで、事業費の総額は22,550千円であった。</p> <p>※参考 令和元年度事業実績</p> <table border="0"> <tr> <td>補助件数</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>2,000千円</td> </tr> <tr> <td>事業総額</td> <td>24,781千円</td> </tr> </table>		補助件数	27件	補助金額	2,000千円	事業総額	24,781千円	成果・課題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。
	補助件数	27件								
補助金額	2,000千円									
事業総額	24,781千円									

予 算 科 目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,781千円	1,794千円	13千円	99.2%		
	目	06 文化財保護費				(参考)当初予算額		
	事	03 指定文化財等管理事業				1,133千円	課	文化財保護課
	細事	02 史跡等維持管理事業	主な財源					
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕							
目的	指定文化財及びそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。							
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>○コウノトリモニタリング事業 663千円</p> <p>国指定特別天然記念物・コウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録を行うとともに、巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。(期間:令和2年4月4日~8月22日、令和3年3月30日~31日)</p> <p>○史跡等草刈り・環境美化委託 983千円</p> <p>史跡等用地の草刈り、清掃等の維持管理を行った。</p> <p>神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、郷村断層、旧口大野村役場、湯舟坂2号墳、竹野神社環境保全地区、高山12号墳、遠慮遺跡、黒部銚子山古墳、震災記念館用地、大谷古墳、浜詰遺跡、細川ガラシャ隠棲地、岡1号墳 計16件</p> <p>○指定文化財看板等修繕 55千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明板、標柱、案内看板等修繕 52千円 (函石浜遺物包地説明看板、陣の森説明看板)</li> <li>・看板土地借上料(3か所) 3千円</li> </ul>		成果・課題	<p>○指定文化財関連施設管理経費 80千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持管理経費 55千円</li> <li>・火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層、浜詰遺跡復元住居) 25千円</li> </ul> <p>○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行うことができ、コウノトリの個体保護に寄与することができた。</p> <p>○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。</p> <p>○指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、計画的な整備につとめ、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	31,235千円	31,510千円	275千円	99.1%	(参考)当初予算額	31,174千円	課	文化財保護課		
	目	06 文化財保護費										
	事	05 遺跡整備事業										
細事	01 遺跡整備事業	国補 市債	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 遺跡整備事業債(過疎対策債)	15,000千円 15,000千円								
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕		主な 財源									
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。											
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定した整備基本計画に基づき、史跡の保存を図りつつ、令和2年度分の環境整備工事を行った。整備工事は、条例に基づき設置した京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施した。(令和6年度完成予定)</p> <p>また、国指定赤坂今井墳墓について、台風等の影響により指定地内の丘陵法面が一部崩落したため復旧工事を行った。</p>		<p>○赤坂今井墳墓復旧事業費 335 千円</p> <p>・工事請負費 史跡地内法面復旧工事 335 千円</p> <p>面積約30㎡。崩落部分に土留板・支柱埋込の後、旧状法面への盛土による地形復旧及び植生シートによる法面保護を実施。</p>									
	<p>○網野銚子山古墳整備事業費 30,900 千円</p> <p>・報酬 史跡整備検討委員会委員報酬 52 千円 (1回開催、委員12人)</p> <p>・旅費 史跡整備検討委員会委員参集旅費、協議旅費 95 千円</p> <p>・常用費 整備事業事務消耗品費 35 千円</p> <p>・委託料 環境整備工事実施設計・監理委託料 4,510 千円 維持管理草刈委託料 703 千円</p> <p>・使賃料 有料道路通行料 5 千円</p> <p>・工事請負費 環境整備工事費 25,500 千円</p> <p>墳丘部の整理伐採113本、墳丘くびれ部から前方部にかけて墳丘裾復元盛土127㎡、周溝表示1,010㎡、墳丘部階段1基新設等</p>		<p>成果・課題</p> <p>○網野銚子山古墳については、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事の一部を遂行できた。</p> <p>○赤坂今井墳墓については、史跡地内の損傷部分を速やかに復旧し、史跡の適切な保存を図ることができた。</p>									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	4,213千円	4,438千円	225千円	94.9%	(参考)当初予算額	4,419千円	課	文化財保護課		
	目	06 文化財保護費										
	事	06 遺跡発掘調査等事業										
細事	01 遺跡発掘調査等事業	国補 府補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4)	2,100千円 1,050千円								
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕		主な 財源									
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。											
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>網野銚子山古墳(網野町網野)、浜詰遺跡(網野町浜詰)の発掘調査を実施した。</p> <p>○発掘調査等経費 4,213 千円</p> <p>・報酬 会計年度任用職員報酬 2,872 千円 (発掘調査補助員・整理員5人)</p> <p>・職員手当等 会計年度任用職員期末手当 179 千円</p> <p>・共済費 労災保険・雇用保険料 11 千円</p> <p>・旅費 協議旅費 15 千円</p> <p>・常用費 会計年度任用職員費用弁償 178 千円</p> <p>・常用費 消耗品、発電機燃料代、器具修繕料等 91 千円</p> <p>・委託料 図面作成委託料 801 千円</p> <p>・使用賃借料 整理作業用パソコン借上料 66 千円</p>		<p>&lt;調査概要&gt;</p> <p>・網野銚子山古墳(現地調査 令和2年5月1日~令和3年2月19日)</p> <p>整備事業に伴う発掘調査として、昨年度調査した東側くびれ部の補足調査(葦石・礎敷き・埴輪列の図化作業等)を行った。また、平成30年度以降の調査で出土した遺物の整理作業を行った。</p> <p>・浜詰遺跡(現地調査 令和2年4月11日~17日)</p> <p>建物建設工事に伴い、区域の一部で遺物包含層が良好に残っていることが確認されたため、緊急で範囲確認調査を行った。結果、遺構はみられなかったが、貝層を検出し、縄文土器片、石器片をはじめ、動物遺存体(貝・骨類)、植物遺存体(木実等)などが出土した。</p>									
			<p>成果・課題</p> <p>○網野銚子山古墳では、令和元年度に確認した埴輪列等の詳細な記録を作成することができ、これまでの成果と合わせ古墳のより詳細な復元像を描くことができた。</p> <p>○浜詰遺跡の調査では、開発工事に伴う緊急の調査であったが、京都府下では数少ない貝層を確認できた。今後資料を詳細に分析することにより、丹後の縄文時代の生活の一端を解明できることが期待される。</p>									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 文化財保護課
	項	04 社会教育費	2,719千円	3,047千円	328千円	89.2 %						
	目	04 資料館費										
	事	01 郷土資料館管理運営事業										
細事	01 郷土資料館管理運営事業											
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕		主な財源	使用料	郷土資料館入館料	12千円						
目的	民俗資料等の収蔵・調査・公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。											
主要な事務・事業の概要	豊富に残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等の適切な保管・公開を行った。また事務室の空調改修工事を実施した。						※令和2年度入館者数：75人（令和元年度：822人） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/18～5/29を臨時休館としたこと、市内小学校利用がなかったこともあり、入館者が減少した。					
	○会計年度任用職員任用経費（1人）	746 千円										
	・報酬、費用弁償、労災保険料											
	○維持管理経費	1,576 千円										
	・光熱水費	698 千円										
	・消耗品費、燃料費	222 千円										
	・通信運搬費等	87 千円										
	・機械警備委託料	83 千円										
	・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等）	151 千円										
	・修繕料（消防設備不良修繕等）	120 千円										
	・保険料（火災保険）	54 千円										
	・その他管理経費（コピー機リース料、テレビ受信料）	161 千円										
	○郷土資料館事務室空調改修工事	397 千円										
	・工事請負費	397 千円										
							成果・課題 ○民俗資料・典籍等の公開により、文化財の普及啓発を図った。 ○常設展示の配置や展示資料の解説内容などを工夫、改善していくことが課題である。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 課	教育委員会事務局 文化財保護課
	項	04 社会教育費	49,994千円	50,274千円	280千円	99.4 %						
	目	04 資料館費										
	事	02 古代の里資料館管理運営事業										
細事	01 古代の里資料館管理運営事業											
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕		主な財源	使用料	古代の里資料館入館料	323千円						
目的	考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高める。											
主要な事務・事業の概要	考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るとともに、施設・設備等の老朽化に伴う改修工事を実施した。						○空調設備等改修工事	39,085千円				
	○会計年度任用職員任用経費（4人）	7,865 千円					・工事監理委託料	1,491千円				
	・報酬、期末手当、共済費、費用弁償						・工事請負費	37,594千円				
	○維持管理経費	3,044 千円					【主な工事内容】					
	・光熱水費	1,004 千円					①空調設備の全取り替え					
	・消耗品費、燃料費	276 千円					②破損が著しい建具取り替え・スロープ手すり等補修					
	・通信運搬費等	166 千円					③建物外壁の一部塗装					
	・機械警備委託料	86 千円					※令和2年度入館者数：1,380人（令和元年度：2,821人）					
	・施設管理委託料（浄化槽維持管理、電気設備保守管理等）	490 千円					新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/18～5/29を臨時休館としたこと、施設改修工事により10/12～3/31を休館としたこと等の影響により、入館者数が減少した。					
	・修繕料（浄化槽、陶芸窯等）	421 千円										
	・土地借上料（2.915㎡）	303 千円										
	・保険料（火災保険）	28 千円										
	・その他経費（清掃用具借上、コピー機リース、協議旅費等）	138 千円										
	・工事請負費（機械警備一時移設、電話設備取替）	68 千円										
	・備品購入費（電話設備）	64 千円										
							成果・課題 ○考古・歴史資料の公開により、文化財の普及啓発を図った。 ○施設・設備等の改修工事を実施し、劣化が著しい箇所の更新を行うことができた。 ○開館から25年以上が経過しており、他の設備等に関しても計画的な更新等が今後の検討課題である。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費						8,562千円	8,563千円	1千円	99.9%	課	文化財保護課	
	目	04 資料館費											(参考)当初予算額	8,488千円
	事	03 資料館等指定管理運営事業												
細事	01 指定管理施設運営事業													
総合計画 基本計画	05 次世代への美しい自然環境の継承 [ 05 次世代への美しい自然環境の継承 ]		主な財源											
目的	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。													
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、地元の掛津区が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。</p> <p>○指定管理委託料 7,275千円</p> <p>○使用料及び賃借料 1,287千円 公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び土地所有者への駐車場用地賃借料</p> <p>※令和2年度入館者数：5,644人（令和元年度：9,520人） 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/9～5/31を臨時休館としたこと、夏休み中の利用者が減少したこと等から、入館者が減少した。</p>													
	成果・課題	<p>○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。</p> <p>○リピーターを含む市内外からの利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。</p>												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費						34,410千円	34,424千円	14千円	99.9%	課	生涯学習課	
	目	01 社会教育総務費											(参考)当初予算額	33,975千円
	事	11 文化芸術事業												
細事	01 文化芸術事業													
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 [ 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 ]		主な財源											
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。													
主要な 事務・ 事業の 概要	<p>文化芸術活動の推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会の提供及び市民による文化活動の充実を努めた。</p> <p>○京都：Re-Search実行委員会負担金 2,000千円 若手アーティスト5人、ゲストアーティスト1組、地域クリエイター3人が本市の歴史・自然・文化をテーマにした現代アート作品を創作し、浅茂川区民会館などの市内各所で展示会を開催した。 ・展示会 14日間開催、延べ参加者数：3,132人</p> <p>○京都府丹後文化事業回運補助金 27,000千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止・延期となったが、映画上映やコンサート、各種公演の実施など、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及事業を支援した。</p> <p>○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 ・加盟団体 135団体、1,825人 ※令和3年3月末現在 新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった「総合文化祭」の代替事業として、「小さな発表会配信事業」を支援したほか、支部事業など市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動を支援した。</p> <p>○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金 30千円 閉校になった旧網野小学校、旧磯小学校の校歌保存事業を支援した。</p>		<p>府補 15,900千円 きょうと地域連携交付金（文化芸術振興事業）</p> <p>繰入金 469千円 韓哲・まちづくり夢基金繰入金</p>											
	成果・課題	<p>○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門（3事業）、展示部門（2事業）、セミナー（3事業）を支援した。</p> <p>○小町ろまん全国短歌大会開催補助金 111千円 ・短歌募集：令和2年7月1日～令和2年9月9日（投稿数）一般の部 401首、学生の部 3,655首 合計 4,056首 ※表彰式等の大会は中止</p> <p>○モノオペラ「細川ガラシャ」京丹後公演実行委員会補助金 469千円 ・モノオペラ公演 11月22日（京都府丹後文化会館） 486人 ・田中彰子さんと子どもとの交流会 11月23日（峰山こども園） 57人</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防のため計画通り、実施ができなかった事業もあったが、幅広い世代が優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。</p> <p>○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて支援していく必要がある。</p> <p>○文化芸術に関する施策を総合的、計画的に推進するため、京丹後市文化芸術振興計画策定に向け、令和3年度は、文化芸術振興審議会を立ち上げて審議する必要がある。</p>												



予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 教育委員会事務局 課 文化財保護課
	項	04 社会教育費	225千円	236千円	11千円	95.3 %					
	目	06 文化財保護費									
	事	01 文化財保護審議会委員設置事業									
	細事	01 文化財保護審議会委員設置事業									
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕		主な 財源								
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。										
主要な 事務・ 事業の 概要	○文化財保護審議会の開催経費		180千円								
	文化財指定、市指定文化財の管理・現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため、審議会を開催した。（委員定数：10人）										
	・報酬	半日×4回（4千円×延べ36人）	144千円								
	・費用弁償		36千円								
	○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費		45千円								
	令和2年度は舞鶴市で開催（令和2年12月3日）										
	・報酬	協議会出席：半日×9人（4千円×9人）	36千円								
	・費用弁償		6千円								
	・普通旅費		3千円								
				成果・課題	○文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。 ○新たな文化財指定について審議を行うことができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間での報告や意見交流を行うことにより、委員の研鑽を積むことができた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部 教育委員会事務局 課 文化財保護課
	項	04 社会教育費	308千円	326千円	18千円	94.4 %					
	目	06 文化財保護費									
	事	50 文化財保護一般経費									
	細事	01 文化財保護一般経費									
総合計画 基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〔 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 〕		主な 財源								
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。										
主要な 事務・ 事業の 概要	○文化財関係加盟団体経費		60千円								
	・全国史跡整備市町村協議会		40千円								
	・全国鳴き砂ネットワーク		20千円								
	○文化財収蔵施設維持管理費		78千円								
	資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 （成路収蔵庫、十楽収蔵庫、旧三重保育所、丹後震災記念館）										
	・光熱水費		32千円								
	・火災保険料		17千円								
	・草刈委託料		24千円								
	・廃消火器処理手数料		5千円								
	○一般事務経費		170千円								
	・消耗品費等		38千円								
	・旅費（史跡整備市町村協議会会議出席等）		56千円								
	・公用車管理経費等		76千円								
				成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。						